



平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年7月28日

上場会社名 兼松エレクトロニクス株式会社
 コード番号 8096 URL <http://www.kel.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月9日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 酒井 峰夫
 (氏名) 岡崎 恭弘
 TEL 03-5250-6823

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	11,056	2.3	1,086	40.4	1,110	41.2	723	19.5
29年3月期第1四半期	11,314	1.4	774	100.8	786	87.6	899	210.6

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 700百万円 (23.9%) 29年3月期第1四半期 920百万円 (169.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	25.30	
29年3月期第1四半期	31.44	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	54,421	41,269	75.7
29年3月期	61,193	41,999	68.5

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 41,217百万円 29年3月期 41,946百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		40.00		50.00	90.00
30年3月期					
30年3月期(予想)		40.00		50.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	31,000	1.6	4,100	8.1	4,100	7.4	2,700	7.2	94.41
通期	65,000	1.3	8,650	2.9	8,700	2.5	5,700	8.3	199.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	28,633,952 株	29年3月期	28,633,952 株
期末自己株式数	30年3月期1Q	35,844 株	29年3月期	35,833 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	28,598,109 株	29年3月期1Q	28,598,526 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における国内経済は、輸出に牽引された好調な企業業績を背景に、6月には日経平均株価も2万円台に達するなど、景気は緩やかながらも堅調に推移しました。

国内IT業界におきましては、一部でIT投資に対する慎重な姿勢はありつつも、ビジネスにおける優位性や競争力確保に必要な戦略的IT投資を中心に回復傾向にあり、概ね良好な事業環境が継続しました。

このような環境の中、当社グループは引き続き、培ってきた技術力をベースとしたインフラ構築ビジネスに加え、ビジネスの基盤である「仮想化」「セキュリティ」などのソリューションビジネスに注力し、事業を強化してまいりました。

特に、昨今、政府や企業において提唱されている「働き方改革」には、仮想化などの技術が用いられる機会も多く、当社グループは技術の提案にとどまらず、顧客企業におけるワークスタイル変革など、提案型の営業活動を行ってまいりました。

また、企業における仮想化ITインフラとして注目を浴びているハイパーコンバージドインフラストラクチャー(HCI)につきましても、ベンダーと戦略的な協業体制を築くなど、今後の業績拡大にむけた施策を積極的に展開してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、110億5千6百万円となり、価格競争等の影響などにより前年同期比2億5千7百万円(前年同期比2.3%減)の減収となりましたが、営業利益は、10億8千6百万円となり、前年同期比3億1千2百万円(前年同期比40.4%増)の増益、経常利益は、11億1千万円となり、前年同期比3億2千3百万円(前年同期比41.2%増)の増益となりました。一方、親会社株主に帰属する四半期純利益は、7億2千3百万円となり、前期に固定資産売却益5億1千7百万円の計上があったことから、前年同期比1億7千5百万円(前年同期比19.5%減)の減益となりました。

セグメントの状況

(システム事業)

システム事業の売上高は、62億7千9百万円となり、価格競争等の影響などにより、前年同期比1億3千9百万円(前年同期比2.2%減)の減収となりましたが、製造業やサービス業向けのサーバー関連事業や、高付加価値のストレージ関連事業が堅調に推移したことから、営業利益は2億6百万円となり、前年同期比1億3千3百万円(前年同期比180.9%増)の増益となりました。

(サービス・サポート事業)

サービス・サポート事業の売上高は、47億7千7百万円となり、メインフレーム周辺機器関連の保守契約売上が減少したことなどにより、前年同期比1億1千7百万円(前年同期比2.4%減)の減収となりましたが、ネットワーク関連およびストレージ関連の保守契約が好調に推移したことから、営業利益は8億6千8百万円となり、前年同期比1億7千9百万円(前年同期比26.1%増)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて11.7%減少し、501億3千3百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が87億6千6百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて2.3%減少し、42億8千7百万円となりました。これは、投資有価証券が8千6百万円減少したことなどによります。

(負債の部)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて36.5%減少し、104億1千3百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が38億3千2百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて2.3%減少し、27億3千8百万円となりました。これは、退職給付に係る負債が5千2百万円減少したことなどによります。

(純資産の部)

純資産は、前連結会計年度末に比べて1.7%減少し、412億6千9百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益7億2千3百万円の計上および配当金14億2千9百万円の支払いにより、利益剰余金が7億6百万円減少したことなどによります。なお、自己資本比率は、前連結会計年度末の68.5%から75.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、依然として国内経済の先行きは不透明ではあるものの、現在の商談状況を踏まえ、平成29年4月28日に公表した業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	35,206,515	36,285,680
受取手形及び売掛金	15,243,417	6,476,715
たな卸資産	2,059,741	2,956,295
繰延税金資産	1,016,313	629,668
その他	3,281,683	3,785,978
貸倒引当金	△1,759	△676
流動資産合計	56,805,913	50,133,663
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	400,337	457,631
その他(純額)	952,667	912,578
有形固定資産合計	1,353,004	1,370,210
無形固定資産		
のれん	39,860	29,895
その他	345,173	329,403
無形固定資産合計	385,034	359,299
投資その他の資産		
投資有価証券	932,425	846,050
長期貸付金	1,198	1,117
繰延税金資産	777,050	771,397
その他	975,065	975,578
貸倒引当金	△36,568	△35,986
投資その他の資産合計	2,649,171	2,558,157
固定資産合計	4,387,210	4,287,667
資産合計	61,193,124	54,421,330

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,651,690	3,819,538
リース債務	14,691	14,433
未払法人税等	1,721,064	4,128
前受収益	2,840,648	3,722,252
賞与引当金	1,147,421	238,261
役員賞与引当金	132,656	45,255
その他	2,884,132	2,569,264
流動負債合計	16,392,306	10,413,133
固定負債		
リース債務	9,772	6,375
役員退職慰労引当金	10,470	9,080
退職給付に係る負債	2,399,474	2,346,503
資産除去債務	259,973	260,312
その他	122,083	116,210
固定負債合計	2,801,774	2,738,481
負債合計	19,194,080	13,151,615
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,031,257	9,031,257
資本剰余金	7,112,350	7,112,350
利益剰余金	25,670,743	24,964,475
自己株式	△29,658	△29,689
株主資本合計	41,784,692	41,078,393
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	251,772	222,489
繰延ヘッジ損益	290	△257
為替換算調整勘定	80,565	76,880
退職給付に係る調整累計額	△170,839	△159,671
その他の包括利益累計額合計	161,789	139,441
非支配株主持分	52,562	51,880
純資産合計	41,999,044	41,269,715
負債純資産合計	61,193,124	54,421,330

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	11,314,179	11,056,864
売上原価	8,303,657	7,995,388
売上総利益	3,010,521	3,061,475
販売費及び一般管理費	2,236,514	1,975,099
営業利益	774,006	1,086,376
営業外収益		
受取利息	2,748	2,103
受取配当金	16,555	20,178
雑収入	8,240	10,808
営業外収益合計	27,544	33,090
営業外費用		
支払利息	453	110
持分法による投資損失	13,518	7,721
雑支出	910	1,010
営業外費用合計	14,881	8,842
経常利益	786,669	1,110,624
特別利益		
固定資産売却益	517,766	—
投資有価証券売却益	—	16,567
特別利益合計	517,766	16,567
特別損失		
固定資産除却損	256	5,695
ゴルフ会員権評価損	13,785	—
特別損失合計	14,042	5,695
税金等調整前四半期純利益	1,290,393	1,121,496
法人税、住民税及び事業税	133,351	△1,867
法人税等調整額	246,373	400,873
法人税等合計	379,724	399,006
四半期純利益	910,668	722,489
非支配株主に帰属する四半期純利益	11,407	△1,148
親会社株主に帰属する四半期純利益	899,261	723,637

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	910,668	722,489
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,730	△29,282
繰延ヘッジ損益	3,587	△548
為替換算調整勘定	△19,430	△3,217
退職給付に係る調整額	32,864	11,167
その他の包括利益合計	10,290	△21,881
四半期包括利益	920,959	700,607
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	913,648	701,289
非支配株主に係る四半期包括利益	7,310	△681

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	システム事業 (千円)	サービス・ サポート事業 (千円)	計 (千円)
売上高			
外部顧客への売上高	6,418,413	4,895,766	11,314,179
セグメント間の内部売上高 又は振替高	9,951	10,412	20,364
計	6,428,364	4,906,179	11,334,543
セグメント利益	73,566	688,524	762,091

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び
当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利 益	金 額 (千円)
報告セグメント計	762,091
セグメント間取引消去	11,915
四半期連結損益計算書の営業利益	774,006

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	システム事業 (千円)	サービス・ サポート事業 (千円)	計 (千円)
売上高			
外部顧客への売上高	6,279,011	4,777,852	11,056,864
セグメント間の内部売上高 又は振替高	155,547	27,647	183,194
計	6,434,558	4,805,500	11,240,058
セグメント利益	206,633	868,073	1,074,706

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び
当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利 益	金 額 (千円)
報告セグメント計	1,074,706
セグメント間取引消去	11,669
四半期連結損益計算書の営業利益	1,086,376

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

該当事項はありません。

平成30年3月期 第1四半期 連結決算ハイライト (日本基準)

売上高は前期比ほぼ横ばいなるも、営業利益、経常利益は大幅増益。	(%表示は対前年同四半期増減率)
売上高	11,056 百万円 2.3%
営業利益	1,086 百万円 40.4%
経常利益	1,110 百万円 41.2%
親会社株主に帰属する四半期純利益※	723 百万円 19.5%
(前期に固定資産売却益517百万円の計上があったことによる減益)	

	損益の状況				30年3月期	
	30年3月期 第1四半期	29年3月期 第1四半期	前年同期比	増減率(%)	業績予想	進捗率(%)
(単位:百万円)						
売上高	11,056	11,314	257	2.3	65,000	17.0
売上総利益	3,061	3,010	50	1.7	-	-
販売費及び一般管理費	1,975	2,236	261	11.7	-	-
営業利益	1,086	774	312	40.4	8,650	12.6
営業外収益	33	27	5	20.1	-	-
営業外費用	8	14	6	40.6	-	-
経常利益	1,110	786	323	41.2	8,700	12.8
特別利益	16	517	501	96.8	-	-
特別損失	5	14	8	59.4	-	-
税金等調整前四半期純利益	1,121	1,290	168	13.1	-	-
法人税等	399	379	19	5.1	-	-
四半期純利益	722	910	188	20.7	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	723	899	175	19.5	5,700	12.7

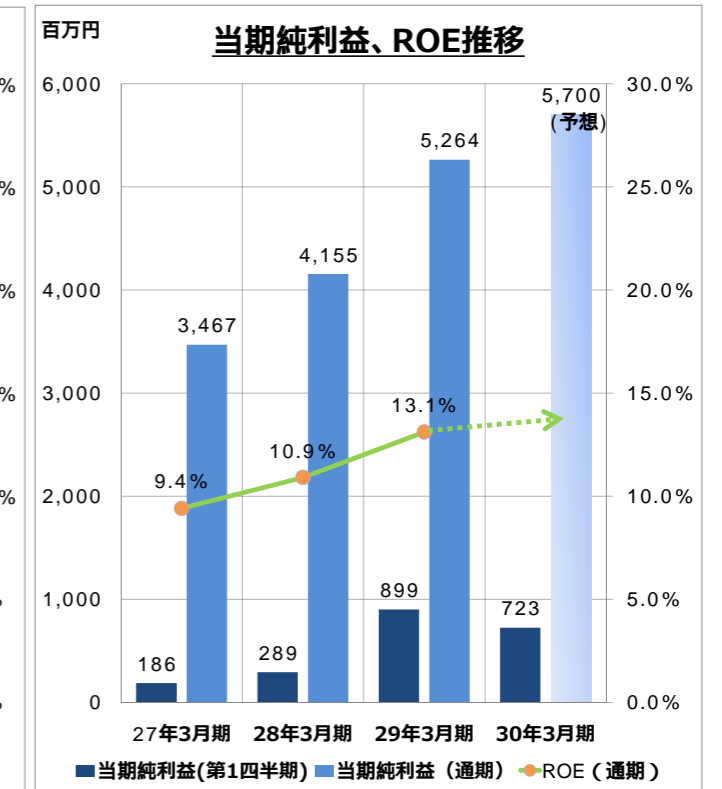
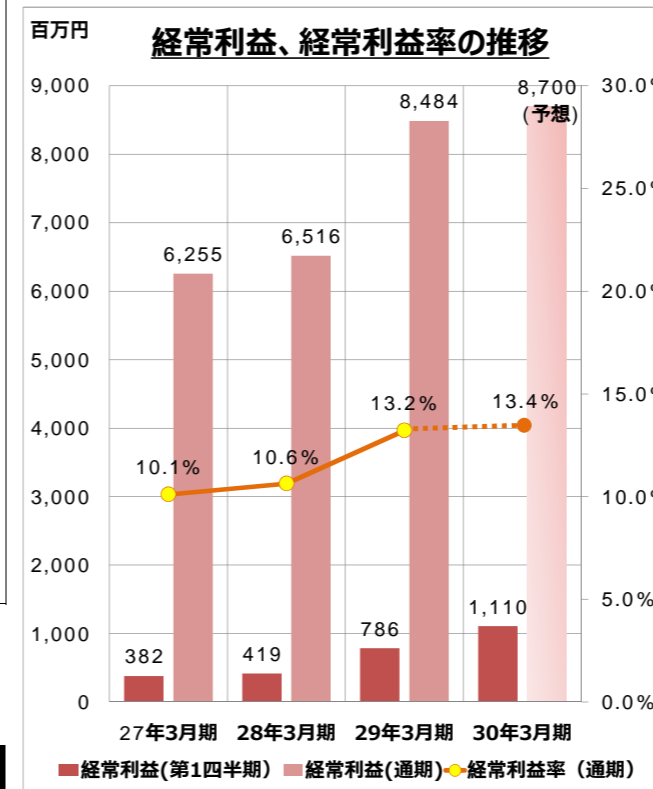
1株当たり四半期純利益(円)	25.30	31.44	6.14	19.5
----------------	-------	-------	------	------

主な増減要因	
売上高	売上高は、110億5千6百万円となり、価格競争等の影響などにより2億5千7百万円(前年同期比2.3%減)の減収。
利益	営業利益、経常利益とも前期比40%超の大幅増益となるも、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前期に固定資産売却益5億1千7百万円の計上があったことから、1億7千5百万円(前年同期比19.5%減)の減益。

総資産及び純資産の状況				
(単位:百万円)	30年3月期 第1四半期	29年3月期	前期末比	増減率(%)
総資産	54,421	61,193	6,771	11.1
流動資産	50,133	56,805	6,672	11.7
固定資産	4,287	4,387	100	2.3
純資産	41,269	41,999	729	1.7
自己資本(注1)	41,217	41,946	728	1.7
自己資本比率(注2)	75.7%	68.5%	7.2pt増加	-

主な増減要因	
総資産	流動資産は、受取手形及び売掛金が87億6千6百万円減少したことなどにより、66億7千2百万円(前期末比11.7%減)の減少、固定資産は、投資有価証券等の減少により、1億円(前期末比2.3%減)の減少。
純資産	親会社株主に帰属する四半期純利益7億2千3百万円の計上による増加と、期末配当金14億2千9百万円の支払いによる減少があり、当第1四半期では、7億2千9百万円(前期末比1.7%減)の減少。なお、自己資本比率は75.7%となり、7.2pt増加。

(注1)自己資本=純資産の「株主資本合計」+「その他の包括利益累計額合計」 (注2)自己資本比率=自己資本/総資産



セグメント情報						
	売上高			セグメント利益		
	30年3月期 第1四半期	29年3月期 第1四半期	前年同期比	30年3月期 第1四半期	29年3月期 第1四半期	前年同期比
(単位:百万円)						
システム事業	6,279	6,418	139	206	73	133
サービス・サポート事業	4,777	4,895	117	868	688	179
計	11,056	11,314	257	1,074	762	312
その他(含む調整額)	183	20	162	11	11	0
合計	11,240	11,334	94	1,086	774	312

主な増減要因	
システム事業	製造業やサービス業向けのサーバー関連事業や、高付加価値のストレージ関連事業が堅調に推移したことにより、前年同期比1億3千3百万円の増益。
サービス・サポート事業	ネットワーク関連およびストレージ関連の保守契約が好調に推移したこと等により、1億7千9百万円の増益。

配当の状況				
	27年3月期	28年3月期	29年3月期	30年3月期
中間配当	30 円	35 円	40 円	40 円(予想)
期末配当	35 円	40 円	50 円	50 円(予想)
年間配当	65 円	75 円	90 円	90 円(予想)
自己資本	37,841 百万円	38,597 百万円	41,946 百万円	-
配当性向(%)	53.6	51.6	48.9	45.2(予想)

*本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。